



# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 デリカフーズ株式会社

コード番号 3392 URL <http://www.delica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 館本 勲武

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 田井中 俊行

TEL 03-3858-1037

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,359	△6.7	246	△26.0	233	△27.4	134	△28.3
21年3月期第2四半期	10,036	—	332	—	322	—	188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	9,206.46	9,143.40
21年3月期第2四半期	12,420.91	12,323.49

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	8,353	3,947	47.3	269,513.39
21年3月期	8,364	3,884	46.4	265,212.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,947百万円 21年3月期 3,884百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5,000.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△5.1	490	△22.5	450	△26.2	261	△24.7	17,821.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無



#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	15,605株	21年3月期	15,605株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	960株	21年3月期	960株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	14,645株	21年3月期第2四半期	15,146株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。



・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績等の概要

(単位：千円)

	平成21年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	平成22年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	比較増減	比較増減 (%)
売上高	10,036,431	9,359,970	△676,461	△6.7
営業利益	332,420	246,131	△86,288	△26.0
経常利益	322,200	233,921	△88,279	△27.4
四半期純利益	188,129	134,828	△53,301	△28.3

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に景況感の一部改善の兆しが見られるものの、雇用環境の悪化や個人消費の冷え込みなど、引き続き厳しい経営環境で推移しました。外食産業におきましても、所得不安を感じる消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向が続いており、外食を控える傾向が強まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの強みである、提案型営業を推し進め、定期的にお客様、取引先等を招いた勉強会を開催するなどして、新規顧客を獲得してきました。その一方で、高齢化社会を迎える現代、当社グループでは、医学、薬学、農学、研究機関等、様々な分野の方々と協力して、「Farm to Wellness倶楽部」を立ち上げ、医・食・農連携の時代を創造することを目的に、様々な企業活動を推進しています。

新しい試みとして、一般の消費者の方々を対象に、野菜や過熱野菜を用いた加工食品を販売する、「Farm to Wellness倶楽部」のマルシェ（市場）を開催し、B to Cへの市場参入を開始しました。このことにより、販売力ならびに商品力を磨き、今後の営業展開に役立てていきます。

また、当社連結子会社である、東京デリカフーズ株式会社の新工場建設計画につきまして、昨年度建設計画を一時凍結しておりましたが、新規顧客が順調に確保できていることと、景気が低迷するなか、予定通り売上が確保できていること等の理由により、新工場建設計画を再開することといたしました。新工場では、既存の工場・センター・事務所を集約して生産効率を高めるとともに、保管設備の充実、衛生管理の充実をはかり、野菜の鮮度と品質の向上に努めます。また、トレーサビリティシステムの導入により、安全、安心を担保しつつ、24時間受発注体制を整え、新鮮で高品質な野菜の流通拡大を目指します。

厳しい環境下での業績を維持するため、新規顧客獲得と重点取引先の深耕営業を継続し、売上高確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ実績は、当初の予定通り、売上高9,359,970千円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益246,131千円（同26.0%減）、経常利益233,921千円（同27.4%減）、四半期純利益134,828千円（同28.3%減）となりました。



(2) 部門別の状況

	平成21年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		平成22年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
	カット野菜部門					
売上高	3,136,395	31.3	3,034,113	32.4	△102,282	△3.3
仕入高	1,494,051	22.8	1,408,646	23.3	△85,405	△5.7
ホール野菜部門						
売上高	5,532,596	55.1	5,009,402	53.5	△523,194	△9.5
仕入高	3,855,554	58.9	3,512,013	58.1	△343,541	△8.9
その他部門						
売上高	1,367,439	13.6	1,316,454	14.1	△50,985	△3.7
仕入高	1,197,964	18.3	1,123,371	18.6	△74,593	△6.2
合 計						
売上高	10,036,431	100.0	9,359,970	100.0	△676,461	△6.7
仕入高	6,547,570	100.0	6,044,030	100.0	△503,539	△7.7

【カット野菜部門】

カット野菜部門につきましては、新規顧客獲得と重点取引先の深耕営業を継続して行ない、国産野菜の需要の増大にも支えられましたが、消費環境の全般的な不振による影響もあり、売上高が減少しました。その結果、カット野菜部門売上高は3,034,113千円（前年同期比3.3%減）となりました。

【ホール野菜部門】

ホール野菜部門につきましては、カット野菜部門同様に消費環境の全般的な不振による影響が大きく、ホール野菜部門売上高は5,009,402千円（前年同期比9.5%減）となりました。

【その他部門】

その他部門につきましては、野菜外商品の売上減少が影響いたしました。この結果、売上高は1,316,454千円（前年同期比3.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、3,906百万円となりました。これは、現金及び預金が46百万円減少したこと、一方、原材料及び貯蔵品が10百万円、未収還付法人税等が30百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、4,446百万円となりました。これは、有形固定資産が22百万円減少したこと、一方、保険積立金が7百万円、投資有価証券が5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、8,353百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、2,305百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が45百万円、短期借入金が31百万円減少したこと、一方、賞与引当金が6百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、2,101百万円となりました。これは、長期借入金が10百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、4,406百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、3,947百万円となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント上昇し、47.3%となりました。



### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期までの実績については、前年比減益にはなったものの、厳しい経済環境のなかでも新規顧客獲得や深耕営業を継続するなどして売上高確保に努めたことにより、第2四半期連結業績予想を確保することができました。

また、第3四半期以降については、今期推し進めてきた諸施策が確実に実行できる体制が整いつつあり、当初予算が達成できると予想しております。

従いまして、現在のところ平成21年5月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ④ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

##### ⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ⑥ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。



5. 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,906,423	1,953,253
売掛金	1,833,905	1,835,559
商品及び製品	40,203	42,571
仕掛品	1,693	1,288
原材料及び貯蔵品	26,578	16,142
その他	107,731	70,556
貸倒引当金	△9,840	△10,013
流動資産合計	3,906,695	3,909,358
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,212,565	1,237,252
土地	2,534,861	2,534,861
その他（純額）	346,599	344,416
有形固定資産合計	4,094,026	4,116,530
<b>無形固定資産</b>		
その他	32,259	32,206
無形固定資産合計	32,259	32,206
<b>投資その他の資産</b>		
その他	343,307	325,138
貸倒引当金	△22,914	△19,142
投資その他の資産合計	320,392	305,995
<b>固定資産合計</b>	4,446,678	4,454,733
<b>資産合計</b>	<b>8,353,374</b>	<b>8,364,091</b>



(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,202	1,051,032
短期借入金	381,788	413,468
1年内返済予定の長期借入金	207,504	197,342
未払法人税等	98,121	109,791
未払金	487,930	487,502
賞与引当金	59,611	53,183
その他	65,075	60,284
流動負債合計	2,305,233	2,372,604
固定負債		
長期借入金	1,963,903	1,974,631
退職給付引当金	45,167	43,348
その他	92,046	89,471
固定負債合計	2,101,117	2,107,450
負債合計	4,406,350	4,480,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	759,755	759,755
資本剰余金	1,591,242	1,591,242
利益剰余金	1,776,443	1,714,839
自己株式	△174,508	△174,508
株主資本合計	3,952,933	3,891,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,910	△7,293
評価・換算差額等合計	△5,910	△7,293
純資産合計	3,947,023	3,884,036
負債純資産合計	8,353,374	8,364,091



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	10,036,431	9,359,970
売上原価	7,429,367	6,936,113
売上総利益	2,607,063	2,423,856
販売費及び一般管理費	2,274,643	2,177,724
営業利益	332,420	246,131
営業外収益		
受取利息	1,839	1,145
受取配当金	964	845
自動販売機収入	814	825
業務受託手数料	—	3,870
その他	2,751	2,704
営業外収益合計	6,369	9,391
営業外費用		
支払利息	16,557	21,601
その他	31	—
営業外費用合計	16,589	21,601
経常利益	322,200	233,921
特別利益		
退職給付引当金戻入額	5,228	—
保険解約返戻金	1,277	—
特別利益合計	6,505	—
特別損失		
固定資産売却損	—	152
固定資産除却損	401	199
不動産取得税等	5,790	—
役員弔慰金	—	2,000
特別損失合計	6,191	2,352
税金等調整前四半期純利益	322,514	231,569
法人税、住民税及び事業税	134,384	96,740
法人税等合計	134,384	96,740
四半期純利益	188,129	134,828





(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	322,514	231,569
減価償却費	101,573	91,709
引当金の増減額(△は減少)	547	11,845
受取利息及び受取配当金	△2,803	△1,990
支払利息	16,557	21,601
固定資産売却損益(△は益)	—	152
固定資産除却損	401	199
売上債権の増減額(△は増加)	182,191	△2,117
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,867	△8,473
仕入債務の増減額(△は減少)	△149,824	△45,830
その他	△3,738	△3,977
小計	469,286	294,689
利息及び配当金の受取額	2,362	1,510
利息の支払額	△16,332	△21,726
法人税等の支払額	△128,494	△138,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,821	136,342
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△36,656	△50,253
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△948,199	△50,797
有形固定資産の売却による収入	—	13
無形固定資産の取得による支出	△1,478	△2,743
投資有価証券の取得による支出	△11,800	△2,922
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	166	10,227
保険積立金の払戻による収入	2,618	—
その他	△16,564	△7,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△951,912	△53,757
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△31,680
長期借入れによる収入	880,000	255,000
長期借入金の返済による支出	△104,145	△255,566
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△97	—
自己株式の処分による収入	1,067	—
リース債務の返済による支出	△13,778	△14,349
配当金の支払額	△60,270	△73,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	692,776	△119,667
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,684	△37,083
現金及び現金同等物の期首残高	1,101,860	1,350,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,169,545	1,313,201



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



6. その他の情報

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成22年3月期 (連結)

(百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,589	4,770		
売上総利益	1,175	1,248		
営業利益	97	148		
経常利益	92	141		
税金等調整前四半期純利益	89	141		
四半期純利益	52	82		
1株当たり四半期純利益	3,583.46円	5,623.01円		
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	3,562.05円	5,580.02円		
総資産	8,224	8,353		
純資産	3,866	3,947		
1株当たり純資産	264,020.18円	269,513.39円		
営業活動による キャッシュ・フロー	12	123		
投資活動による キャッシュ・フロー	△22	△31		
財務活動による キャッシュ・フロー	△2	△117		
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,337	1,313		

平成21年3月期 (連結)

(百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,924	5,111	4,935	4,530
売上総利益	1,239	1,367	1,316	1,165
営業利益	109	222	189	110
経常利益	105	216	181	106
税金等調整前四半期純利益	106	216	173	98
四半期純利益	61	126	101	56
1株当たり四半期純利益	4,086.39円	8,333.38円	6,719.22円	3,865.66円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	4,047.29円	8,282.34円	6,695.15円	3,836.55円
総資産	7,194	8,306	8,734	8,364
純資産	3,652	3,776	3,857	3,884
1株当たり純資産	241,197.93円	249,194.29円	258,832.36円	265,212.43円
営業活動による キャッシュ・フロー	31	295	94	209
投資活動による キャッシュ・フロー	△23	△928	△76	△1
財務活動による キャッシュ・フロー	△110	803	8	△52
現金及び現金同等物 四半期末残高	999	1,169	1,194	1,350